

茅ヶ崎セントラルクリニック

小田島 英明 (副技師長 / 臨床工学科)

功 績 毎月の透析に必要なフィルタの管理および償還差益の詳細なシミュレーションを行いつつ、9月は当院だけではなくグループ病院の熱川、西伊豆の透析フィルタについても自分事として検討を行い、両院の透析フィルタ購入費削減に寄与した功績

推 薦 者 若林陽盛

推 薦 理 由 臨床工学技士の中でも特筆すべき知識を持ち、業務に活かしていること、またセントラルクリニックのみならず、熱川、西伊豆、土肥CL全てを健育会グループの仲間として協力したいという気持ちとその行動は理事長賞に相応しいと考え、推薦させていただきます。

内 容

小田島は入職20年になるベテランの臨床工学技士です。当院では透析に係る機器類、薬剤、医療材料の管理を行うとともに、患者さん一人ひとりの情報をしっかり頭に入れており、透析針の穿刺の際は患者さんからリクエストがかかるほど信頼されている職員です。

毎月、透析に必要なフィルタの購入と使用、償還差益の詳細なデータをとりまとめ、進捗に加え次月以降の用途をきちんと報告してくれるため、経営にも非常に高い確度で貢献してくれています。

9月、健育会グループの透析実施施設合同でフィルタの共同購入をして全体の費用を抑える取り組みを開始しました。熱川、西伊豆、土肥CLそれぞれの病院から、どのようなフィルタをいくらで購入しているかデータを頂き、当院の臨床工学技士と協議をする中、小田島は率先して詳細なシミュレーションを行い、どのフィルタを変更して交渉すればどの程度安くなるか、またフィルタを変更した場合の代替フィルタはどのメーカーのどの商品が良いか、即座にアドバイスをしてくれました。

結果として、3施設合計で10月購入分より、月額フィルタ購入費を170,000円程度削減することに成功しました。この結果は小田島の普段より絶え間ない臨床工学技士としての向上心と、自己学習の賜物であると考えます。また、小田島は西伊豆へ派遣され、西伊豆の透析全般にアドバイスをした経験もあることから、自分のクリニックだけではなく、グループ全体の透析に関与し、自分事として捉えている点も理事長賞に相応しいと考え、推薦させていただきます。